

(様式1)

令和3年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 048	提案機関名 湘南地域県政総合センター
要望問題名	しらす船びき網漁業によるいわし類以外の稚魚混獲調査
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】	<p>湘南地域県政総合センターの所管する藤沢市から二宮町にかけては、しらす船びき網漁業が盛んである。一方、管内のしらす船びき網漁業以外の一部の漁業者は、しらす船びき網漁業がいわし類以外の稚魚を大量に混獲しているのが、最近の不漁の原因ではないかと危惧している。</p> <p>そこで、しらす船びき網漁業で漁獲されるいわし類以外の稚魚の混獲状況をモニタリング調査し、結果を情報発信することにより漁業者の懸念を解消する必要がある。また、調査の結果いわし類以外の漁業資源に影響する可能性がある場合には、適切な対策についての提言が必要である。</p>
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	栽培推進部
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 200海里内漁場資源調査		
対応の内容等	<p>シラス船びき網漁業者は、高周波、低周波の魚探やソナーを駆使して魚群を探索しますが、いわし類の仔稚魚であるいわゆるシラスと別種の魚群を明確に見分けるとともに、シラスのサイズも読み取って操業しています。混獲物が多ければ、自家加工時にそれを選別する作業が煩雑となることから、魚探やソナーの反応がシラス以外のものと判断すれば網を入れないといった高度に選択的な漁労を行っています。水産技術センターでは三浦半島、湘南、西湘の各地区の標本船から月に10サンプルほどの無選別のシラスを入手し、種組成と体長組成を見ているが、混獲される魚類の多くはハゼ類やアナハゼ類で、水産有用種の採捕はほとんど見られません。必要があれば、このことをシラス船びき網以外の漁業者の皆様にも周知して誤解を解くとともに、サンプルの測定時に混獲される魚種の状況（種類や尾数等）についても情報発信してまいります。</p>		
解決予定年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			